

活動報告

2017年度 全学教育センター FD 活動報告

榎 本 綾

日本福祉大学 全学教育センター

Report on Faculty Development Activities by Nihon Fukushi University
Inter-departmental Education Center in the Academic Year 2017

Aya ENOMOTO

Inter-departmental Education Center, Nihon Fukushi University

1. 2017年度全学FD概要

全学FD活動は、全学的な教育開発課題に関する知識や情報の共有を主として、本学教職員の教育・業務遂行スタンダードの形成に資することを目的として実施してきた。2007年度に「きょうゆうサロン」と「バスツアー」を実施したことを皮切りに、2011年度からは「ランチタイムFD」、2013年度からは「ICTスキルアップ講座」と、その取り組みを拡大してきている。

2017年度は、2016年度に採択され、2017年度に本格稼働した文部科学省の高大接続改革推進事業「大学教育再生加速プログラム」（以下“AP事業”という）のテーマ「卒業時における質保証の取組の強化」の取り組みと連動して卒業時の教育の質保証に関連したFDを行うとともに、新任教員を対象とするFD・SDを実施した。各FDの日程とテーマ、参加者数を表1-1に示す。

1-1. 全学FD

1) スポーツに資するFD 教育方法及び教育改善

7月には、スポーツ科目担当教員（専任、講師）を対象に、成瀬徹講師よりソフトボールに対する授業研究、実践、教員としての心構えについてご報告いただき、参加者間で活発な問題提起、助言、議論を行った。

1月にはスポーツ科目担当教員以外の教員・職員も対象に、オリンピックの競泳日本代表選手の経験のある坂口結子助教による指導の下、水泳講座を開催した。長く楽しむことができる生涯スポーツである水泳の泳ぎ方のポイントを学んだ。

2) きょうゆうサロンバスツアー 地域連携教育の推進
「地域連携教育におけるフィールドワークの学び～心地よい風を呼ぶまち・知多市バスツアー～」

地域連携教育を推進する教職員が地域の魅力を発見し、関係者同士の「出会い」や「つながり」を構築することを目的に、2016年7月に本学と包括連携協定を締結した知多市をフィールドとしたバスツアーを実施した。地域づくりの担い手育成拠点「わ～くわくらボ」、特定非営利活動法人地域福祉サポートちた等を訪問し、地域連携教育を推進する上で理解しておくべき地域の「資源」を実際に現地を見て、当事者の方々から想いのこもった話を聞くことの重要性を改めて感じることができるFD・SDとなった。

表1-1 2017年度全学FD実施概要

全学FD		
開催時期	開催テーマ	参加人数
	講師・話題提供者	
「スポーツに資するFD」 教育方法及び教育改善		
2017 年 7 月 21 日	ソフトボールの授業実践報告および初年次教育の役割を織り込んだ授業実践報告	21 名
	全学教育センター 高村秀史 助教 成瀬 徹 講師	
2018 年 1 月 12 日	水泳講座	19 名
	スポーツ科学センター 坂口結子 助教	
「きょうゆうサロンバスツアー」 地域連携教育の推進		
2017 年 8 月 8 日	包括連携協定締結の「知多市」でのフィールドワーク	20 名
	全学教育センター 佐藤大介 助教	
「ICT スキルアップ講座」 学修の管理・支援		
2017 年 11 月 10 日	学生の文章作成指導における ICT 活用に焦点を合わせた学生の主体的・能動的学修を促す「ICT スキルアップ講座」	12 名
	子ども発達学部 倉掛 崇 助教 福祉経営学部（通信教育）水野節子 助教	
2017 年 12 月 8 日	「学生への情報モラルの指導方法について」	21 名
	金城学院大学 長谷川元洋 教授 全学教育センター 村川弘城 助教	
「全学FD/SD フォーラム」 卒業時の質保証		
2018 年 1 月 18 日	「3 つのポリシーの実質化と学修成果の評価」	51 名
	関西国際大学 学長 濱名篤 氏	
新任教員FD・SD		
開催時期	開催テーマ	
2017 年 4 月 3 日・4 日 (第 1～4 講)	新任教員オリエンテーション（キャンパス紹介，教務オリエンテーション等）	
5 月 11 日（第 5・6 講）	(入試部事項) 学生募集・入試制度，入試スケジュール，推薦系入試・面接にあたって	
	(学生部事項) 学生状況，配慮を必要とする学生の理解・対応	
5 月 25 日（第 7 講）	(学長事項) 本学の危機管理，日本福祉大学のミッションの継承 (理事長事項) 理事長懇談	
6 月 8 日（第 8・9 講）	(総合研究機構長) 研究関連状況，研究支援	
	(就職部長) 就職状況，キャリア支援	
7 月 6 日（第 10 講）	教務事項，本学の教務試験の仕組み，障害学生への試験配慮	
7 月 20 日（第 11 講）	前期研修の振り返り	
10 月 19 日（第 12 講）	各キャンパスの「安全の日」企画への参加	
11 月 30 日（第 13 講）	大学の意思決定の仕組み	
12 月 7 日（第 14 講）	大学における「3 つのポリシー」，シラバスの作成にあたっての留意事項	
2018 年 2 月 14 日 (第 15 講)	赴任初年度の振り返り	

3) ICT スキルアップ講座 学修の管理・支援

ICT スキルアップ講座は、本学の教育における情報環境活用の促進や教員の技量向上等を目的として開催している。2013 年度は同年度導入の G Suite (旧名: Google Apps) の授業運営の質向上に向けたテーマとし、2014 年度、2015 年度は実際の授業における教員の活用場面を想定した演習、2016 年度は G Suite の新規機能である学習管理システム「Google Classroom」の機能説明を行った。

2017 年度は、2 講座実施した。ひとつめは、倉掛崇助教による G Suite の各種サービスとその活用事例の紹介の後、水野節子助教が、「今ここ」での体験の言語化に力点をおく自身の授業方針に組み合わせて、G Suite を授業の各ステップでどのように活用したかと、そこから見えてきた ICT 活用の可能性と課題について報告した。

もうひとつは、情報モラルとその学生への指導方法に関する知識を深めることを目的として、金城学院大学の長谷川元洋教授を講師に迎えお話をいただいた。同大学での取り組みを交えながら、学生がインターネットに気軽に情報を載せることの良し悪しや、学生に指導すべき点について学んだ。

4) 全学 FD / SD フォーラム

全学 FD・SD 活動の柱のひとつである「全学 FD / SD フォーラム」は、教育改革の推進に向けた戦略的な提言および教育技術、教育手法の開発に資する取り組みとして実施している。2017 年度は前年度に引き続き、AP 事業に関する知見獲得のために、本学の AP 事業の一環として、3 つのポリシー (アドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシー) の実質化について理解し、学部ディプロマポリシーに則して教育課程全体で学生の学修成果をどのように評価 (アセスメント) するか、参加者とともに考えることを目的に同フォーラムを開催した。

関西国際大学学長の濱名篤氏を講師に迎えた基調講演では、質保証や学修成果の可視化の動向、同大学におけるアセスメントポリシーに基づく評価実践についてお話いただいた。続くグループワークでは、「日本福祉大学スタンダード」(本学学生が卒業までに身に付けるべき資質・能力: 伝える力、見据える力、関わる力、共感する力) の獲得状況について、学生が自己評価を行うため

のルーブリックを確認し、各評価基準に対する例示を考える機会とした。

1 - 2. 新任教員 FD・SD

新任教員 FD・SD は、本学に新たに赴任した専任教員を対象とした学習プログラムである。日本福祉大学スタンダードに関わる GP 事業の一環で 2009 年度より開始し、現在は副学長の下で実施している。赴任初年度から教育・研修の推進に関するより広範な知識の獲得を図るため、それまで年 6 回だったところ 2015 年度から全 10 回に、2017 年度からは全 15 講と内容を拡充させた (表 1 - 1 参照)。

2017 年度は、全学で推進中の「地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業」と「大学教育再生加速プログラム」に関する内容をプログラムに組み込み開催した。

対象者は 2017 年度新任教員 26 名 (業務時間認定対象者) であった。

2. 総括

スポーツに資する FD はスポーツ科目担当教員を対象に行っていたが、2017 年度の第 2 回開催時には、スポーツ科目担当教員以外の教員・職員も対象にしたことにより、様々な年代の参加者にスポーツの楽しさを伝え、健康面での意識向上を図ることができた。スポーツの専門家から指導を受けられたことが参加者には好評であった。今後も生涯スポーツの意義の浸透を図るため、一般教職員を対象にした FD を企画していきたい。

また、数年ぶりの取り組みとして「きょうゆうサロンバスツアー」を開催した。実際に現地に足を運び、当事者に話を聞くことにより、その地域の魅力や地域の方のまちづくりに対する想いを深く知ることができた。これにより、地域連携教育を担う教職員が、その魅力を学生に伝えるための教育プログラムを作り上げる上で必要な、地域の方々との関係を構築することができた。新任教職員がキャンパス周辺の地域を知る機会として、また、教職員が所属キャンパス以外の地域に関心を持つ契機となるよう、適宜、このようなバスツアーを実施していく。

最後に、AP 事業の推進のための知見獲得の機会として、本事業の要となる学修成果のアセスメントのあり方について学んだ。AP の取り組みは社会福祉学部、子ども発達学部を対象としているが、2019 年度から全学展開を見据えている。そのため、今回実施した「全学

FD/SD フォーラム」のグループワークのように、実際に自身の所属学部に落とし込んで考えてみる必要があると考える。今後は、知識獲得型から実践型へとFD・SDのプログラムを検討し、AP事業の展開を図っていく。